

# 算総額は144億2,354万円

## 一般会計

昭和五十九年度が始まりました。四月から向こう一年間の市政の基本となる予算のあらましをご紹介します。

予算総額は、百四十四億二千三百五十四万三千円です。(1)市民のくらしを守り健康と福祉の向上 (2)住みよい生活環境の整備 (3)心の豊かさをはぐくむ教育文化の充実 の三項目を柱としてあすの向日市をつくるための予算となっています。

# 一般会計 八十九億二千三百万円

二十一世紀にむけて明るい展望が開けるふるさとづくりを

- 資料館常設展示物製作費 4,000万円
- 市民体育館建設事業 742万円
- 長岡京遷都1200年記念事業 530万円
- 向日市史下巻の発行 2,263万円
- タイムカプセルおよび市民の鐘設置 411万円
- 向日市観光パンフレット作成 70万円



- 「木簡」集および長岡京跡案内冊子の作成 360万円
- 5万市民のふれあいと新しいふるさとづくり、向日市まつりを開催 300万円



### 住みよい生活環境の整備

道路の改良事業およびカーブミラーなどの設置、補修などの交通安全対策事業 2億6,320万円

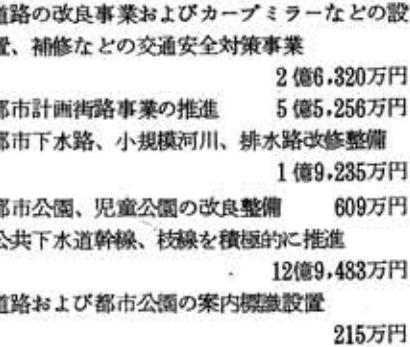
都市計画街路事業の推進 5億5,256万円

都市下水道、小規模河川、排水路改修整備 1億9,235万円

都市公園、児童公園の改良整備 609万円

公共下水道幹線、枝線を積極的に推進 12億9,483万円

道路および都市公園の案内標識設置 215万円



65歳以上のねたきり老人等に自動火災警報器具の貸与など 73万円

ごみの分別収集、し尿収集体制の充実など 5億3,500万円

市制モニター制度、市民憲章の推進 172万円

広報向日市の発行、盲人用声の広報テープ作成など広報の充実 1,529万円

街路灯の増設、改修、維持管理 964万円

交通事故をへらすため交通安全教室の開催などとともに放置自転車対策の一層の強化 198万円

地域防犯体制の確立のため、警報機設備に補助 22万円

交通災害共済加入者に補助 50万円

阪急電車京都線連続立体交差事業基本構想策定委託 300万円



### 心の豊かさをはぐくむ教育文化の充実

西向日コミュニティセンターの運営管理 203万円

寺戸東コミュニティセンター建設事業 5,199万円

私立幼稚園に教材費を、施設に設備費などを補助 6,281万円

小中学校の学校運営に必要な施設維持管理経費 1億6,990万円

小中学校施設整備 5,000万円

- 修学旅行、遠足などを通じて、経験的な学習指導の実施など 3,188万円
- 子供会を育成するためのリーダー養成や地域活動・集団育成など 209万円
- 家庭教育学級、高齢者教室などを開催 399万円
- 地区公民館講座などの充実運営 1,924万円
- 物集女車塚古墳調査事業など 3,100万円



- 京都国体準備費 213万円
- 図書館、図書購入およびコンピュータの導入 2,610万円



京都国体準備費 213万円

図書館、図書購入およびコンピュータの導入 2,610万円

### 歳出

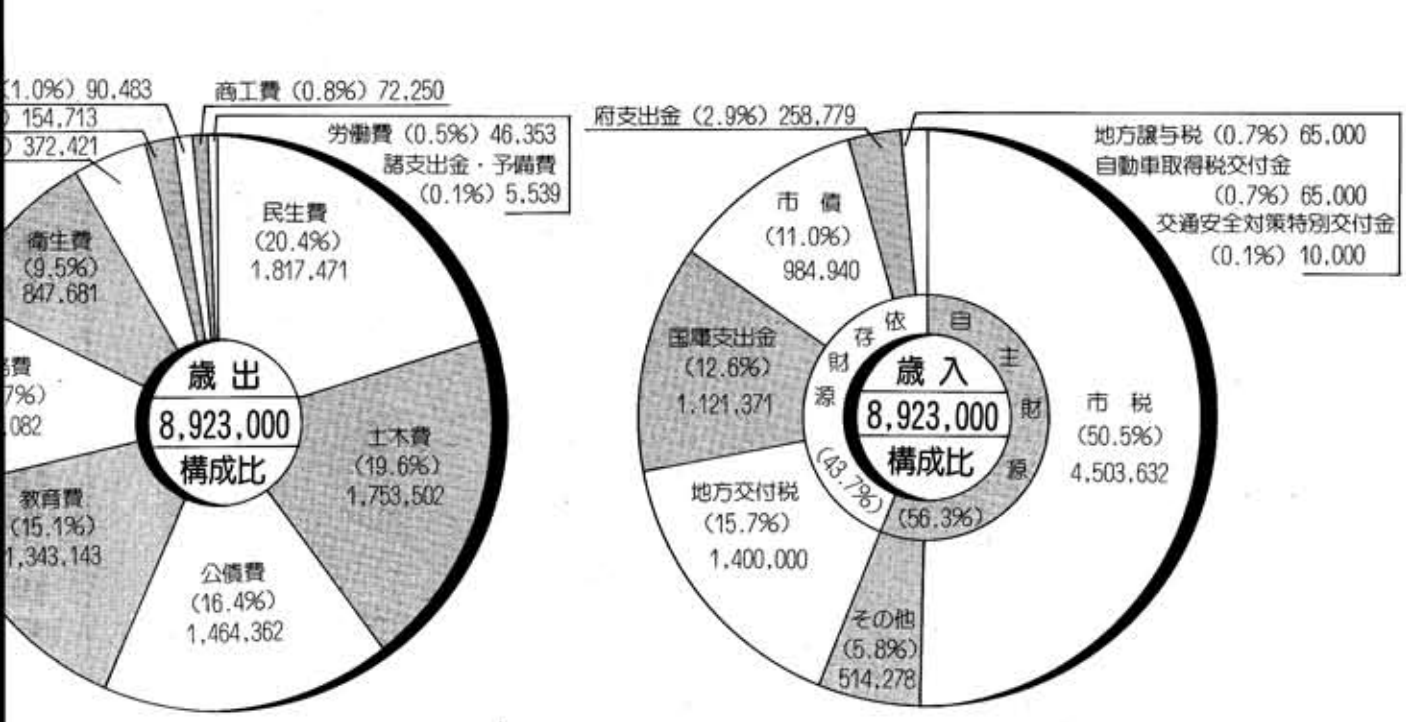
歳出予算とは、一年間の収入を見込んだうえで、何のためにお金をどう使っていくかを定めるものです。五十九年度の一般会計予算額は、八十九億二千三百万円です。目的別にみると、市民生活費は十八億七千七百四十七万円、全体の二〇・四％、土木費は十七億五千三百五十万円、一九・六％、公債費は十四億六千四百三十六万円、一六・四％、教育費は十三億四千三百四十四万円、一五・一％、総務費は九億五千五百八十八万円、一〇・七％、衛生費は八億四千七百六十八万円、九・五％などとなっています。

### 歳入

歳入予算とは、市が行ういろいろな事業をまかなう財源をいいます。

主な新規事業は、  
 ■痴呆性老人の短期保護  
 ■ふるさと産品推進事業  
 ■化学消防ポンプ車購入  
 ■ゴミ収集車の購入  
 ■阪急電車京都線連続立体交差事業基本構想策定委託

歳入の主なものは、市税・府支出金および市債です。市税は、四十五億三百六十三万円で、全体の五〇・五％、地方交付税は十四億円で、一五・七％、国庫支出金は十一億二千三百三十七万円で、一二・六％などです。五十九年度は、引き続き厳しい社会情勢の中で、市の台所事情も例年以上に厳しいものとなっています。このため、市税などの自主財源の確保を図るとともに、国・府に対し、地方税財政制度の抜本的な改善など、引き続き財源確保について強く要望していきます。



予算額と構成比

図で見る

# 予算